

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年 3 月 26日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3474100348		
法人名	株式会社アーバン・ケア		
事業所名	グループホームはなみずき		
所在地	尾道市向島町立花3010-23 (電話) 0848-20-6022		
自己評価作成日	平成30年2月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=3474100348-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年3月14日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

海あり・山あり・公園ありと、自然に恵まれた環境は抜群です。また、建物は平屋造りなので両ユニットの入居者様が気軽に行き来できます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

瀬戸内海に面した場所にありグループホームからの景色が大変良い環境にある。明るい建物に高い天井と空間に開放感があり、落ち着いた生活が過ごせるようになっている。職員も自立支援に前向きな方が多く、対応が難しい入居者にも積極的にアプローチすることで、元気に楽しく過ごされている。これが職員にも仕事のやりがいとなっている。グループホームには大きなテラスが備えてあり、外出の難しくなってきた入居者にも外を見ていただけるよう工夫がなされている。このため看取りも積極的に行われ、最後まで安心して生活できる環境にある。

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域密着型の意義を理解し、それに基づいた理念を職員全員で共有している。短期目標も考えて、目標達成に向けて実践している。	基本理念をもとにユニットで目標設定しケアにつなげている。毎朝の申し送りでも理念と目標を確認し皆が意識できるようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	行事には声をかけていただき、出来るだけ参加したいと思っている。	地区社協からの情報提供を受け、地域の大きな行事には参加するようにしている。その中のお祭りでは子供神輿がグループホームの前まで来てくれて、入居者にとっては楽しみの一環となっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の行事やお祭りなどの寄付もさせていただき、地域の方に認知症の人の理解と開かれた施設作りを目指している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ご家族様からその都度意見をいただき、その場で解決できる問題であれば、その場で討議し、納得していただいている。	運営推進会議では家族から要望があった事を多職種皆で共有することで、意見を頂き改善するようにしている。また、外出できる場所の共有も随時行っている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市町に、地域連携会議の案内と内容報告を提出し、施設の日々の取り組みを見ていただいている。わからない事は気軽に相談に乗ってもらっている。	介護保険更新の際には入居者と一緒に申請しに行くことで、お互いに顔の見える関係づくりを行っている。市町の担当者と密に連携を図ることにより、困った方の相談依頼も来ている。また、来年度から認知症カフェの開催相談も前向きに検討している。	

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	個々で捉え方に違いはあるが、基本的にスタッフは理解しており、拘束しないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないために研修会を開催している。また、身体拘束につながりそうなケアは職員間で意見を出し合い、どうすればしないで済むのか日々検討し実践に繋げている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることのないよう注意を払い、防止に努めている。	虐待についても、日々の対応の中で再確認しながらケアにあたっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	以前は成年後見人制度を利用されていた入居者様も居られたが、現在はおられません。情報交換は行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には事前に内容を説明させて頂き、充分理解されたうえで本契約の運びとしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	2ヶ月に1回の家族会及び運営推進会議の時に、ご家族様から意見が出たり要望が有れば、それに向けて対応させていただいている。(家族会の報告はカンファレンスで行っている)	家族からの要望に上がってきた事は、運営推進会議で議題として取り上げ、皆で共有し運営に反映している。その中には、顔と名前が一致するように玄関に写真を貼るなど改善した事例もある。	

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	カンファレンスの時や申し送りの時などで意見が出れば早急に対応し、出来る事は取り入れるようにしている。	管理者と職員が良好な関係が気づけているため、意見がすぐに聞きやすい環境にある。定期的に面談する機会も設けてある。改善した事例には、休憩時間の確保に繋げた事もある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	スタッフの生の声が聴ける環境作りをすることで、しっかり話し合い、改善できることはしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	スキルアップの為、研修は参加しやすいように研修費・交通費など施設側が負担してくれている。また、施設内研修も取り入れている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括支援センター主催の町内の施設合同の研修会にも参加させて頂き、情報交換をしてより一層のサービスの向上につなげたい。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	出来るだけ要望にお応えするように配慮している。利用者との信頼関係が1番なのでスタッフ同気配り。心配りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前面接・契約時にご家族様の今までの苦勞話に耳を傾けながら、当施設での対応方法を説明させて頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	まずは事前面接に伺い、その時の聞き取り調査・本人の状態など、面接の上で当施設で受け入れ可能か、あるいは他の施設の利用もあるなど提案させて頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者様は皆様人生の経験者・先輩なので、常にお互いに勉強をさせていただいているという気持ちで接するように心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	利用者様のご家族とも、来所の折には施設での様子をお伝えしたり、逆にご家族様から新しい情報を教えていただいたり、居室でご家族で困らなしていただいています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	当施設は、夜間・深夜以外はいつでも面会を取り次いでいる。家族以外、知人・友人の面会もご家族様に了解のうえで取り次いでいる。	馴染みの関係が継続していけるように入居の段階から家族を含め職員と共有し、面会に来ていただけるように工夫をしている。また、入居前の関係性が途絶えないように施設を解放し、訪問美容に来ていただくこと等も行っている。	

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>趣味や手作業など、お互い教え合ったり困っていたら声を掛け合って皆さん共同生活されている。広告のゴミ入れも作業を分担されて行っておられます。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>契約が終了しても気にかけてくださり、入居者様を紹介して下さるご家族様もいる。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>中々思い通りの生活は叶えてあげられないが、より近いものにしてあげられるように、本人の意思・意向を尊重しながら日々対応に努めています。</p>	<p>普段の会話の中から意向の把握に努め、買い物に行きたいとの希望を言われる方には、スーパーにお連れし一緒に楽しく外出支援をした事例もある。意向の把握が困難な方には、表情やうなずきなどの小さな動作を読み取り本人本位に検討している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>日常の会話の中から生活歴を引出したり、ご家族にお聞きしながら、日々の対応に反映させている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>個々で違うので、お一人ずつに適した生活様式を把握してその時々に応じた対応をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人・ご家族の意向に沿った介護計画ができるよう、主治医の指示も仰ぎ、カンファレンスでも話し合いながら現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者毎に担当職員がついており、アセスメントを担当して、本人の意向がしっかりと汲み取れるような体制となっている。それをもとにケアマネジャーが、他の職員からも情報収集を行い原案を作成し、カンファレンスにて作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の小さな変化や、細かく個別記録に記入することにより職員間で情報の共有をしケアや介護計画に生かしている。</p>	/	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>出来るだけ入居者様・ご家族様の意向に沿うように心がけている。</p>	/	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域資源を把握することで、出向ける事には参加しようと思うが出向ける人が限られているので、ボランティアなどで入って頂くことで生活に張りが出てきている。</p>	/	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本来は提携医があるので、変わっていただくのを前提としていますが、かかりつけ医が町内で往診可能な方はそのままかかりつけ医の往診を支援している。</p>	<p>基本的には施設の提携医が担当しているが、入居者によっては昔からのかかりつけ医の往診のもと、適切な医療が受けられるようになっている。また、眼科、耳鼻咽喉科等の専門医へはご家族協力のもと送迎等の支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	非常勤の看護職員の出勤時には、利用者様の特変を報告し適切な指示を仰いでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	状態にもよるが、出来るだけ入院期間は短期間が望ましいので、様子を伺いに行ったり病院と連絡を取るよう心がけている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医からの指示により、終末期に向かう段階で、ご家族様と話をさせていただき、ある程度の方針を決めて、看取りまでの過程を説明している。	入居の段階で今後の看取りに関する説明を行い、書面での同意を得ている。段階に応じて随時変更できるシステムも備わっている。主治医の指導のもとで往診により看取りができ、安心して看取りを行った事例もある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故に備えて緊急マニュアルを作成し、それに従い落ち着いて対応するように指導している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	施設に於いては定期的に避難訓練・救命救急の訓練・指導は実施しているが、地域との協力のもとに実践が伴っていない。	年2回の定期的な火災訓練には消防署立ち会いの基、実施している。また、海に近く津波による災害が想定されるため、非常時等に備え随時相談し、今後について検討を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	その点は、スタッフも充分配慮していると思う。居室の訪室時には、中に居なくてもノックをして入室し、利用者様にも声をかけて入室するように努めている。	共有スペースのリビングではプライバシーに配慮し、他者の耳に入らないように小さな声でお伝えする等の工夫をしている。お風呂場にはカーテン等を利用し、プライバシーの配慮に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己主張できる方に関しては、対応できる範囲でお応えさせていただいている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	集団生活ではあるが、個々の自主性を優先させて、一人ひとりの思いを大事にしている。日々の日課として体操・ストレッチも声掛けはするが、強要はしないようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝のモーニングケア時、鏡を見てもらい自分の顔をしっかり見てもらい、整容の支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来るだけ味覚・視覚は大事にしたいので季節の旬の物は提供したいと考えています。勿論、食事は一緒に摂り、メニューの話や味付けの話題などで盛り上がります。片つけ・食器拭きなど手伝ってもらっています。	朝食と夕食は手作りをを行い、入居者によって下準備やお膳を下げたりと可能な限りのお手伝いをしている。日々の会話から食べたい物を聞き取り、メニューに生かしている。不定期で、ホットケーキを皆で焼いたり楽しめる食事を心がけている。	

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>量・形態・時間など、一人ひとりの状態に応じて支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアの声掛け・介助させていただいている。ご家族・ご本人の希望に合わせて、月2回、歯科衛生士による口腔ケアの訪問もほとんどの方が実施されている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄状況を記録し、定期的な声掛け誘導を実施している。</p>	<p>一人ひとりの排泄記録表があり、職員で共有することで排尿間隔を把握し、自立支援に繋げている。過去にはおむつで入居した入居者も排泄パターンを知ることでトイレに変更した事例もある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防の為、毎朝バナナ・ヨーグルトを提供している。水分補給も細目に心がけている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>便失禁などの時は、時間に関係なく、その都度入浴又はシャワーの支援を行っている。また通院など外出予定日前日には入浴の対応をしている。</p>	<p>基本的には週に2回入浴出来る様になっている。排泄等で汚染した入居者には、いつでも入浴できる環境にある。湯船からは中庭が見えるように設計されており、四季折々の景色が楽しめるようになっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	その日の体調に合わせて、昼食 後に午睡をされる方とされないか たがいる。夕食後は、一人ひとり の時間に合わせ、入室消灯され ている。消灯時間も決まってい ない。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	薬が変わった時は、連絡ノート や申し送りなどで行い、服薬は 飲み込まれる最後まで見届け 確認するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている。	その人の残存機能を活かせる 役割を見つかけたり、趣味や 楽しみが持続できるように支 援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援して いる。	気候の良い日には、出来る だけ散歩やドライブの声掛け をしている。ご家族の面会時 には協力していただき、一緒 に外出される方も居られます。	気候の良い日を選んで近くの 海を見に行ったり、公園にお 連れしたりしている。また寒 い日でも少しでも外に出て いただくことで季節を感じ られる様に支援している。ま た、散歩が難しくなってきた 入居者には、テラスへお連れ し、外の空気に触れていただけ るよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。	ご本人が、お金の管理をされ ている方は、買い物に同行支 援している。自分で管理され ていない方は金額を決めて 買い物をしていただくときも ある		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	個人で携帯電話を使用されている方も居られましたが、殆んどの方が電話の取次ぎ・貸し出しの対応としている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	午前中は光が眩しすぎるので、カーテンなどで遮るようにしています。冬場は暖房の乾燥防止の為加湿器を使用している。	リビングの天井が高く不快な匂いがしない設計となっている。壁には季節の行事の写真が飾られて、居心地良く過ごせる環境となっている。また、年に一度幼稚園の園児が来所した際の貼り絵が飾られて、ほんわかと温かみのある空間作りに役立ってられている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	個室なので、いつでも気兼ねせず、自分の部屋でゆっくり静養できる。またリビングのソファで、利用者同士お話をされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居前に使われていた馴染みのあるものを持ってきていただき、落ち着いて過ごして頂けるようにしている。(写真・仏壇・寝具)	居室にはベッドと大きなタンスが備え付けられている。入居者によっては仏壇や植木が飾られており、本人が居心地良く過ごせるような工夫がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	一人ひとりに何が出来るかを見つけ、残存機能を活かせるような見守り、声掛けをさせていただいている。		

V アウトカム項目(空) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームはなみずき

作成日 平成30年4月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	18	外出支援	限られた入居者様だけでなく、一人でも多く外にお連れする。	遠くでなくても、テラスや近隣の公園に散歩に行く。	1ヶ月
2	13	災害対策	津波を想定しての移動手段・避難場所の設定	避難場所等までの経路を事前に下見し所要時間等をチェックする。	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。